

科目	特殊な治療に対する看護				
時間数	1 単位 15 時間	授業方法	講義	授業時期	2 年
講師名	⑤岩崎智之 ③松浦志信 補助(③河本さやか)				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	がんを抱える成人期にある対象の特徴や化学療法(薬剤の管理:抗悪性腫瘍薬)、緩和ケア(安楽確保の技術)、放射線治療(安全管理の技術:被ばく防止、暴露防止)についての知識を理解し、対象に応じた看護について学ぶ。				
目標	1. がんを抱える対象の特徴や化学療法、放射線治療を受ける患者の看護を理解する 2. 人生の最期のときを支える看護を理解する				
授業計画					
回	内容				
1	放射線とは				
2	放射線治療の理解と看護				
3	がん化学療法を受ける患者の看護				
4	がん化学療法の実際				
5	抗がん剤副作用についてグループワーク				
6	終末期を迎える患者に対する緩和ケア				
7	症状アセスメントとマネジメント				
8	意思決定支援と人生会議				
評価方法	その時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り受験資格を与える。 各講師が各々の担当領域について終講時に筆記試験を行った結果及び平素の学習状況を総合して 100 点満点で評価する。 60 点以上を及第点とする。				
教科書	緩和ケア:医学書院 がん看護学:医学書院				